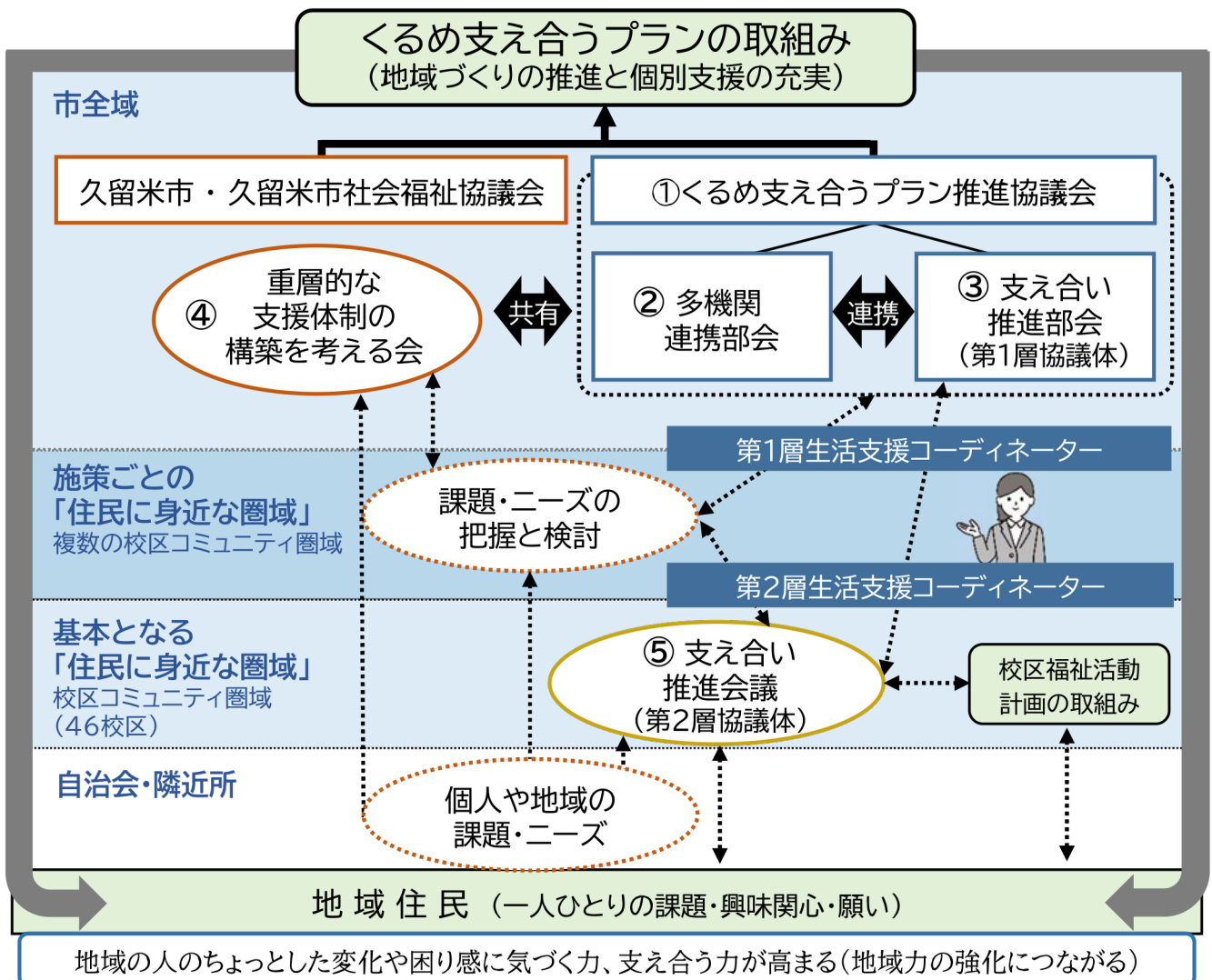


7 計画の推進

- 本市の特長として、医療・社会福祉施設、支援関係機関等が充実し、校区コミュニティ圏域を基盤とした活動やNPO法人等による活動が活発です。この特長を活かしながら、地域住民や多様な主体と一緒に個別課題や地域課題の解決に取り組んだり、課題の発生を予防する地域づくりを進めます。
- 地域住民の課題、興味関心や願いにもとづく地域の課題・ニーズを把握検討し、めざす姿を共有しながら、分野を超えた連携・協働による包括的な取組みとしてプランを推進します。
- 各校区の「校区福祉活動計画」や「支え合い推進会議」の支援とともに、取組状況を把握していきます。
- 「くるめ支え合うプラン推進協議会」の意見や成果指標、地域の状況等を踏まえながら、行政内部の体制等による点検・評価を行い、実情に応じて、取組みを絶えず検討・見直します。



※①～⑤の各会議の説明(詳細は資料編に掲載)

- ①市民公募委員を含む各分野の代表で組織される協議会。プランの進捗、推進等のために必要な事項を協議。
- ②多機関協働による包括的な支援体制の構築を図るための部会。地域課題を分析し、必要な取組みを検討。
- ③地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境の整備を図るための部会。地域の支え合い意識の醸成について協議。
- ④制度の狭間や複合的な課題に対応できる、重なり合う支援体制の構築に向けた対話・検討の場。
- ⑤安心して生活できるまちの実現のため、地域でできることなどを地域の人が話し合う場。全校区に設置。

